



## 「北陸・管理技術者懇談会」を開催しました

～建設コンサルタントの管理技術者と発注者が直接意見交換～

コンサルタント業務の現場を理解・把握している管理技術者の声を聞くことにより、コンサルタント業務の現場について受・発注者が直接意見交換し、さらなる円滑な業務執行に努めるため、昨年度に引き続き「北陸・管理技術者懇談会」を開催しました。

－主な意見・要望－

### ■ テーマ1：入札契約に関して

【若手技術者育成支援】

- 若手ヒアリング同席については、発注者からの質問に対して管理技術者がどのように回答しているかなどを直接傍聴できるので、経験を積む機会として非常に有効であり、今後も続けてほしい。
- 若手のヒアリング同席だけでなく、逆に若手の管理技術者がヒアリングを受ける際に、上司に同席（傍聴）してもらうのも勉強になると思う。
- 関係機関協議の同席についても、直接関係機関の意向確認や質問が可能となり、円滑な業務に執行につながっている。
- ベテラン照査技術者を配置して若手管理技術者の参加を促す、自主的照査併用型方式については、年齢の縛りも設けた方がよいのでは。
- 若手育成の一環として、担当技術者が「やりがい」につながる方策を検討していただきたい。 等

### ■ テーマ2：積算・業務履行・完成検査に関して

【業務スケジュール管理、条件明示】

- 業務スケジュール管理表の活用によりクリティカルを受発注者で共有でき、円滑な業務履行にも有効である。
- 管理表の運用（試行）当初は、管理表自体の“作成が目的”となっていた面があるが、管理表の簡素化もあって、現在は“活用”へ転換してきていると感じる。
- 詳細設計業務以外の調査・解析業務等では管理表が馴染まない点もあるが、工夫を加えての活用、あるいは履行途中での成果の一部提出の時期等を共有するだけでも円滑な履行につながる。
- 当初契約時に明示（数量、特記仕様書）されていない業務の追加が業務スケジュールにも影響を与えるケースがあり、条件等の明示徹底が望まれる。

- 詳細設計業務において条件明示チェックシート（案）が提示されず、設計条件も不明確な業務ではスケジュール管理にも苦慮することから、チェックシートの活用徹底が望まれる。 等

### ■ テーマ3：担い手確保・育成に関して

#### 【ワーク・ライフ・バランス、業務の平準化】

- 業務の平準化については、平準化しても業務はあるので、休暇取得とは直接結びつかないのではないか。
- 平準化されて、なおかつ適切な工期設定がなされれば、その中で休みも含めてやり繰りできるので良いと思う。また、適切な工期設定であれば、1日あたりで見ても正常な労働時間の中で仕事ができるので、結果として品質向上にもつながると思う。
- 地元コンサルでは年間の業務量の低いところにあわせて人材を確保しているので、平準化されて年間の業務量が谷間なくある程度確保できれば、人材も増やせるので良いと思う。
- 年度末発注がたくさん増えると、3月に技術提案をたくさん作成しないといけないので、履行中業務の工期末とピークが重なると、技術者としては大変ではないか。
- 工期が変更されて3月末になるのは困る。 等

### ■ テーマ4：その他

#### 【i-Construction、CIM】

- 今後、3次元設計が一般化されることを見越して、3次元設計の作成も提案しているが、その必要性について、あまり認識してもらえていないのではないか。
- 今後、CIMが本格導入されていくと思うが、3次元設計成果の照査時間について、配慮していただきたい。 等

## (参考) 開催概要

◎日 時：平成29年1月17日 15:45～17:15

◎会 場：ラマダホテル新潟

◎出席者：受注者…11人（(一社)建設コンサルツ協会北陸支部から推薦があった管理技術者）  
発注者…4人

受注者
開発技建(株)
(株)国土開発センター
大日本コンサルタント(株)
エヌシーイー(株)
(株)キタック
(株)建設技術研究所
(株)日本海コンサルタント
大原技術(株)
(株)東京建設コンサルタント
東京コンサルタンツ(株)
パシフィックコンサルタンツ(株)

発注者（北陸地方整備局）
地方事業評価管理官
企画部 技術調整管理官
企画部 技術開発調整官
企画部 技術管理課長

## ◎懇談会の様子



### 【同時資料配付先】

- ・日刊建設通信新聞社 新潟支局
- ・建設ジャーナル社
- ・北陸工業新聞社 新潟支局
- ・日本工業経済新聞社 新潟支局
- ・産業新聞社 信越支局
- ・新潟建設工業新聞社
- ・日刊建設工業新聞社 北陸総局
- ・鉄鋼新聞社 新潟支局
- ・(株)建設速報社

### 【問合せ先】

国土交通省 北陸地方整備局

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1

TEL 025-280-8880(代)

地方事業評価管理官 高島 和夫 (内線2118)

企画部 技術管理課長 土田 稔 (内線3311)